

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成24年6月29日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県愛知郡東郷町大字春木字蛭池 1

株式会社 東郷製作所

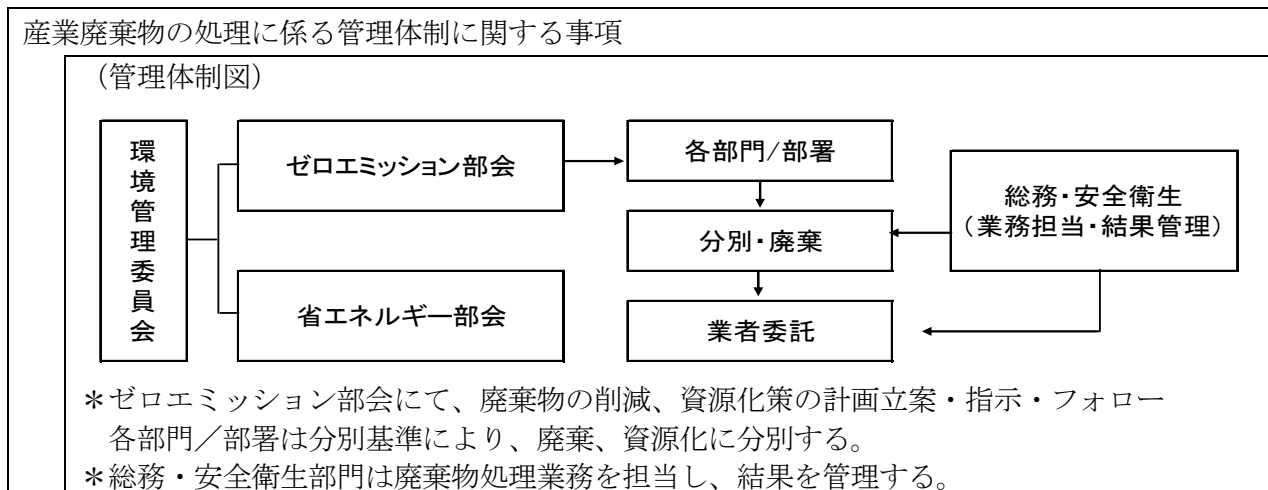
氏 名 取締役社長 相羽 繁生

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0561-38-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 東郷製作所
事業場の所在地	愛知県愛知郡東郷町大字春木字蛭池 1番地
計画期間	平成24年4月1日から平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	31：輸送用機械器具製造業
②事業の規模	製品出荷額 3347140万円
③従業員数	820人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 自ら減量し外部委託で中間処理、残渣を有効利用 廃アルカリ 外部委託にて中間処理後残渣を埋め立て処理 廃プラスチック 再生処理業者に委託して再資源化 金属くず 有償化・再資源化



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成23年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (樹脂類)	廃アルカリ	金属くず (鉄粉)	汚泥 (排水処理)
	排出量	152.3 t	93 t	0 t	1443 t
	(これまでに実施した取組) 生産量回復を予測 廃プラスチック類分別有償化促進、金属くず有償化継続 工程廃水量の削減、薬品投入量の適性化による削減活動実施し 無駄な廃棄物の増加を抑制する				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (樹脂類)	廃アルカリ	金属くず (鉄粉)	汚泥 (排水処理)
	排出量	150 t	90 t	0 t	1400 t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラスチック類分別有償化促進 生産の増加が見込まれ水の需要の伸びを予想するが 工程廃水量の削減、薬品投入量の維持管理継続				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類のきめの細かな分別活動を実施 サーマルリサイクルとマテリアルリサイクルのための分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類のきめの細かな分別活動を促進継続 サーマルリサイクルとマテリアルリサイクルのための分別継続

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1188 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 工程廃水量の削減、薬品投入量の適性化による削減活動 汚泥の含水率を下げる活動		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1150 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 生産の増加が見込まれ水の需要の伸びを予想 工程廃水量の削減、薬品投入量の適性化による削減活動継続 汚泥の含水率を下げる活動の継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（平成23年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—	—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t		
	(これまでに実施した取組) なし				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—	—		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t		
	(今後実施する予定の取組) なし				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（平成23年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (樹脂類)	廃アルカリ	金属くず (鉄粉)	汚泥 (排水処理)
	全処理委託量	152.3 t	93 t	0 t	255 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	93 t	0 t	255 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	152.3 t	0 t	0 t	0 t
((これまでに実施した取組) 廃プラスチック類、金属くずの有償化実施運用 工程廃水量の削減活動実施 汚泥の含水率を下げるように努力					

(第5面)

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (樹脂類)	廃アルカリ	金属くず (鉄粉)	汚泥 (排水処理)
	全処理委託量	150 t	90 t	0 t	240 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	90 t	0 t	240 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	150 t	0 t	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>金属くずの有償化継続</p> <p>生産の増加が見込まれ水の需要の伸びを予想するが 工程廃水量の削減活動、薬品投入量の適性化による削減活動実施 汚泥の含水率を下げるように努力継続</p>				
※事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画添付資料

1、会社の概要

- (1) 会社名
 (株)東郷製作所
- (2) 資本金
 3億400万円
- (3) 従業員数
 820人

平成24年6月29日
(株)東郷製作所
安全衛生環境室

2、事業の概要

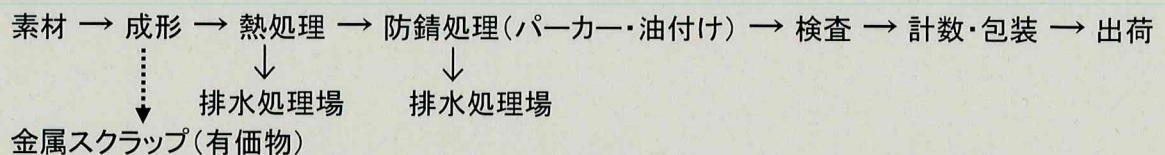
- (1) 製造品出荷額(売上高)
 334億円／平成23年(2011年)

(2) 製造概要

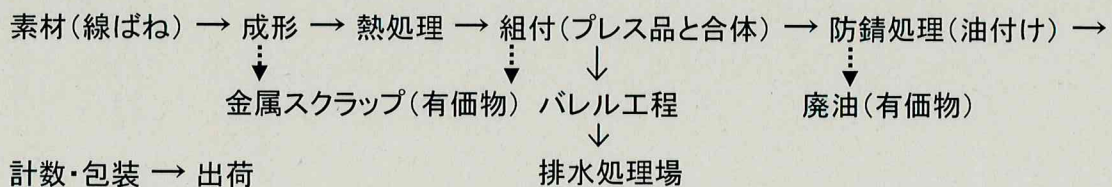
自動車用の各種小物ばねの製造・販売をしており、本社工場では、薄板ばね、組付け品(線ばねとプレス品との結合製品)を製造。第5工場では、線ばね、樹脂ばね、樹脂製の電子部品を製造している。

(3) 製造フロー

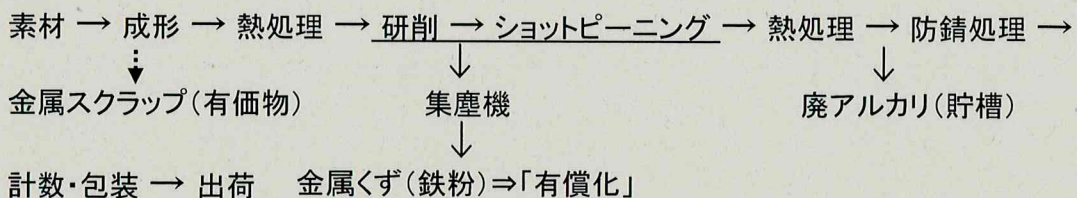
(薄板ばね)



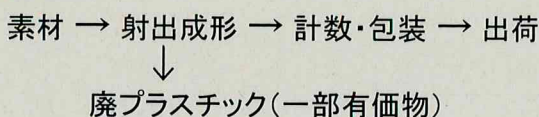
(組付け品)



(線ばね)



(樹脂ばね)



(電子部品)



(その他)

製造品出荷用の通い箱の洗浄工程からの排水は、排水処理場にて処理。
廃油(有価物)は、各製造部より発生する。

(部会名) ゼロエミッション部会

12年 環境実施計画・実績表

作成 2012年 1月 18日

承認 点検 作成

目的・目標	年度目標				主な実行項目 / 手段	部会推進者	推進部署	日程計画												評価	
	11年	12年	13年	14年				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
分別収集の運用と実施					定例会議(1回/月 第3木曜日 10:00~)	リーダー	実施日	1/26	2/16	3/15	4/19	5/24	6/21	7/19	8/23	9/20	10/18	11/15	12/20		
① 分別ルール の伝達					分別ルールの見直し(細分化など) 資源ごみ分別の徹底	リーダー	ゼロエミ部会														
② 分別の徹底 (一般廃棄物)	98%以上	97%以上	98%以上	98%以上	分別収集の実施と維持 全社活動の推進		全社														
③ 収集アイテムの整備					リサイクルステーションの点検 改善アイテムの抽出		分別率														
再資源化の拡大					資源化拡大の取組み 社外の情報収集して自社にあった活動の展開	リーダー	分別率	96.0%	98.1%												
① 廃棄物の再資源化	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上			全社														
② より高度なリサイクルの推進					埋め立てのごみ 理め立てごみ 08年比 08年比 08年比 75%減 75%減 75%減	リーダー	資源化率	100.0%	99.3%												
廃棄物の削減					埋め立てのごみ 理め立てごみ 08年比 08年比 08年比 8%低減 10%低減 再設定	リーダー	全社														
① 一般廃棄物の削減	08年比 10%低減	08年比 8%低減	08年比 10%低減	08年比 再設定	工事業者の廃棄物持ち帰り依頼と徹底 業者焼却ごみの実態確認と資源化の推進		サイト														
② 主材料の削減	08年比 10%低減	08年比 8%低減	08年比 10%低減	08年比 再設定	各部門項目(収益改善活動) 段取りのロス低減・歩留向上・樹脂型ランナーレス化など 公開による意識向上・・・現状の数値化		全社														
5R活動の展開					各部署の展開状況確認とフォロー 廃棄物マップの作成(全体流れ図作成) 勉強会の実施・社内報等によるPR	リーダー	全社														
① 活動の定着化	定着	定着	定着	定着			低減率	22.0%	50.3%												
② PR活動・啓業活動	定着	定着	定着	定着			低減率														

改訂日	内容	改訂者	月度チェック	岡本	岡本
2012.04.16	異動によりメンバー変更:		フェック日	2/17	3/16
			環責報告日	3/19	3/19
			環責責任者点検		